

評価細目の第三者評価結果
(障害者・児福祉サービス版)

A-1 利用者の尊重と権利擁護

A-1-(1) 自己決定の尊重

	第三者評価結果
<p>△① A-1-(1)-① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。</p> <p>良い点/工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> ・児童の権利に関する条約及び児童福祉法の基本理念に基づき、児童の最善の利益を優先し、心身ともに健やかに育成されるよう日々の療育を行っている。また、児童の育成の第一義的責任をもつ保護者への丁寧な支援に取り組んでいる。 ・ことばの遅れや特性のある幼児期の子どもの発達力や、発達上のねがいを丁寧に把握しながら、一人ひとりの発達状況にあわせた個別支援計画を作成し、子どもの主体性を引き出す療育を行うよう努めている。 ・職員マニュアルの冒頭に人権に関することを明記し、研修を行いながら、職員一人ひとりが合理的配慮や人権を意識するようにしている。 </p> <p>改善できる点/改善方法：</p>	<p>㊦・b・c</p>

A-1-(2) 権利擁護

	第三者評価結果
<p>△② A-1-(2)-① 利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。</p> <p>良い点/工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> ・異常事案(リスク)個票(児童虐待、障害福祉従事者等による障害者虐待)が作成されており、手順等が明確になっている。 ・子ども安全委員会を設置し、虐待など権利侵害の状態になっている園児の早期発見に努めているが、権利侵害と思われる状況は見受けられていない。身体拘束は行っていない。 ・子ども安全委員会のアンケートでは、虐待に対して職員の自己チェックに加え、他者のチェック欄もあり、職員同士がお互いに検討し合える体制ができている。 ・日々事前防止に努めており、権利侵害が発生したことはないが、発生した場合は園内の子ども安全委員会や指導委員会で検証するとともに、庁内関係機関と迅速に連携を図る。 </p> <p>改善できる点/改善方法：</p>	<p>㊦・b・c</p>

A-2 生活支援

A-2-(1) 支援の基本

<p>△③ A-2-(1)-① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。</p> <p>良い点/工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> ・食事、排泄、着脱等身辺自立は、一人一人の状況に合わせ、始めは一緒にやりながら、できる部分は見守り、徐々に支援を減らす等、保護者と相談し家庭でも同じ方法で取り組んでいる。 </p>	<p>㊦・b・c</p>
---	--------------

<ul style="list-style-type: none"> 子ども自身がやってみようと思えるような、大好きな大人の存在や気持ちに寄り添った声かけなど信頼関係の構築に努めている。 子どもが意欲をもてる課題をスモールステップで設定し、「がんばったらできた」と子どもが生活の主人公になれるよう、日々の生活を大切にしている。 	
改善できる点／改善方法：	
A④ A-2-(1)-② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	㊦・b・c
良い点／工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> 園児の状況に応じて、身振り、指さしや絵カードなど言葉以外の方法を使った意思表示（コミュニケーション）が図られるよう工夫している。 活動の中で、「〇〇ほしい」、「手伝ってほしい」、「トイレに行きたい」など、意思表示（コミュニケーション）を促す場面を作ったり、意思表示ができるまで待つなどの配慮をしている。 個別支援計画の項目の中の「人とのかかわり」の項目の欄で、具体的な目標と支援方法を定め、クラス担任の認識・支援方法を統一している。また、園児の気持ちを代弁できるよう、日々一人ひとりに寄り添った丁寧な療育を進めるよう心掛けている。 子どもによっては、保護者が代弁者となって職員とともに子どもと関わっている。 	
改善できる点／改善方法：	
A⑤ A-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	㊦・b・c
良い点／工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> 子どもの姿をよく見て、子どもの発達上の願いを把握した上で、大人の関わり方を日々検討している。 保護者には、「個別希望カード」を配布し、相談や要望がある場合は、担任に提出することとなっている。また、日々の連絡ノートに記載された内容によっては、担任から保護者に声をかけ、事情を聞いたり相談にのる等行っている。 親子登園では、子どもの思いや行動の理由を通訳するとともに、関わり方を相談したり、育児負担を労ったりする。その都度支援方法を変更しながら、必要に応じ個別支援計画を修正する。就園や就学等進路については、担任、児童発達支援責任者や、相談支援専門員と連携し、関係機関とつながりながら、情報提供し相談に応じる。 	
改善できる点／改善方法：	
A⑥ A-2-(1)-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	㊦・b・c
<ul style="list-style-type: none"> 子どもの施設であるため、活動は大人の自己満足にならないような療育内容になっているか、絶えず見直しをしている。また保護者の意見を聴取している。 子ども視点の療育という観点から、やりたいことを本人が絵カードを使って選択できるなど方法を模索している。一人ひとりの個別支援計画に基づき、それぞれの園児が好きな活動ができるよう配慮している。 	
改善できる点／改善方法：	

A⑦ A-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	a・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに職員の研修計画を立て、数年間ですべての正規・非正規全職員が順に研修に参加し、質の向上を図っている。 ・園児の状況は、週に1回の指導部会で報告し、支援の共有を図っている。また、定期的にケース検討会議を開催し、園児に対する支援内容を全職員で検討し、支援方法の見直しや環境整備を行う。 ・毎年、外部から講師を招き助言を受けるとともに、今年は不適切な行動等を継続的に記録し、要因等を予測し、その対応や環境設定についてスーパーバイズを受けている。 ・親子登園児は、保護者間の関係も良好であるよう配慮が欠かせない。 	
<p>改善できる点/改善方法</p> <p>：</p>	

A-2-(2) 日常的な生活支援

A⑧ A-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	第三者評価結果 a・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所と同じ献立を、自園で調理して提供している。給食食材は、できるだけ国産・ノンアレルギーにこだわっている。 ・月に1回給食委員会を開催し、献立ごとの子どもの摂取状況等を確認している。 ・排泄については、一人ひとりの育ちと課題を踏まえ、個別支援計画に基づき支援を行っている。 ・バス送迎を実施し、個々に応じた支援を行う。 	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	

A-2-(3) 生活環境

A⑨ A-2-(3)-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	第三者評価結果 a・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童福祉法に基づく指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準に基づき、施設を整備している。 ・けが防止のため園庭を芝生化している。転倒・転落の恐れがある箇所は衝撃軽減のためマットを敷くなどの配慮もしている。 ・トイレについては、職員が目が複数の園児に届くよう扉をなくしているが、プライバシー保護に配慮している。また、トイレにも滑走による転倒防止のため、マットを敷いている。 ・体調を崩したり、感染症及び疑いのある園児は別の部屋で療育できるよう、医務室がある。 ・毎年実施するアンケートに療育環境に関する項目もあり、保護者の希望を把握している。 ・予算化を伴うものを含め、可能な限り状況を改善している。今年度はトイレにクローラーを設置と子ども用便器の交換を予定している。 	

改善できる点／改善方法：

A-2-（４） 機能訓練・生活訓練

	第三者評価結果
A(10) A-2-（４）-① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 非該当</p>	
改善できる点／改善方法：	

A-2-（５） 健康管理・医療的な支援

	第三者評価結果
A(11) A-2-（５）-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学園生活のしおり」に健康管理について明記してある。園児の健康状態については、排せつ支援、検温の他、保護者からの連絡ノートなどからも把握している。現在はコロナ感染防止のため、親子ともに毎日の健康チェック表を活用している。 ・嘱託医による検診（内科・歯科年２回、耳鼻科・眼科年１回）を実施している。 ・隣接する、長良医療センターと医療協定を締結し、急病やけがにも対応している。また、状況に応じて他の病院へもかけられるよう、近隣の病院の電話番号を事務室に掲示している ・職員研修については日本赤十字社から今年度はAEDについての研修を受講した。また、薬剤師から環境衛生についての指導を受けており、粉塵の数値について指摘があったため、空気清浄機を設置した。 	
改善できる点／改善方法：	
A(12) A-2-（５）-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児の病気・ケガについては職員マニュアルを定めている。 ・近隣にある長良医療センターと医療協定を締結しており、急病やけがの際は園児を連れて行き受診させる体制をとっている。 ・「保育所における感染症対策ガイドラインについて」を参考に「ほけんだより」を作成し、園児が感染症にかかった場合は迅速に配布できるように準備している。 ・異常事案（リスク）個票（インフルエンザの集団発生、園児がけがをした）を作成している。 ・服薬等についても、職員マニュアルに定めている。薬は必ず保護者から「薬連絡票」とともに職員に直接渡すこととなっている。 ・食物アレルギー児の対応についても職員マニュアルに定めており、主治医の意見書に基づいて対応をしている。 ・毎月担任、保護者、調理員（栄養士）が、面談により給食とおやつの食材をチェックし、日々は担任と管理者が提供前にチェックしている。基本的には除去食としているが、アレルギーがない食材で代替えもしている。特におやつについては、代替え品を提供している。 	

<ul style="list-style-type: none"> ・医療的な支援については、学園内に喀痰吸引の研修修了職員が数名おり、喀痰吸引が必要な場合は対応可能であるが、ケアが必要な園児は現在受け入れていない。
改善できる点／改善方法：

A-2-(6) 社会参加、学習支援

	第三者評価結果
A(13) A-2-(6)-① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	a・b・c
良い点／工夫されている点： 非該当	
改善できる点／改善方法：	

A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援

	第三者評価結果
A(14) A-2-(7)-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	㊦・b・c
良い点／工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> ・保育所、幼稚園への移行や就学先について、保護者学習会を開催したり、保護者同士のフリートークの場を設定している。 ・同年齢集団での体験のため、岐阜市の交流保育を活用している。 ・就園、就学先については、まずは保護者や家族の意向を把握し、必要な情報提供、相談支援を行っている。移行にあたって、つきたい力を保護者と確認しながら、療育を進めるとともに、卒園後の支援についても相談している。 ・市の療育総合判定会議（保育所等の特別な配慮のための会議）の判定委員として、児童発達支援管理責任者が出席し、関係機関と密に連携している。 	
改善できる点／改善方法：	

A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援

	第三者評価結果
A(15) A-2-(8)-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	㊦・b・c
良い点／工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> ・サービス利用計画作成時に保護者の希望や家庭の状況を確認し、それを踏まえた個別支援計画が作成されている。 ・恵光学園は親子療育を基本としているため、日々の療育を通じて保護者間の交流がある。また、年に3回親子ふれあいデー（内1日は運動会）を日曜日に開催し、父親や祖父母にも療育についての理解を深めてもらうとともに、子どもとの関わり方を学んでもらう機会を設けている。（今年度はコロナ禍で規模は縮小している） ・単独登園に移行してからは連絡ノートのやりとりを毎日している。体調不良の報告以外に「〇〇ができたよ」等の園児の変化を、その日のうちに、保護者に電話で知らせるようにしている。 	

<ul style="list-style-type: none"> ・保護者間の交流については、園児の保護者で構成する「親の会」主催で、総会（2回）、親睦会（1回）が開催されている。 ・園児の体調不良や急変時の家族等への連絡先は、事前に保護者に確認している。連絡先は事務室内のわかるところに置かれている。 ・新入園児・継続児を分けての学習会や就学についての学習会の他、保護者同士のフリートークやクラス学習会も開催されている。 ・「生きる力を家族とともに育てる療育」を理念とし、保護者の療育目標(①こどもとの具体的な遊びを覚える、②子どもとの関わり方を身につける、③子どもの姿を正しくつかむ、④できたことを家族や地域でも実践する、⑤保護者同士の交流を深める)を定め、家族支援を行っている。
改善できる点／改善方法：

A-3 発達支援

A-3- (1) 発達支援

	第三者評価結果
A(16) A-3- (1) -① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	a・b・c
良い点／工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画の作成にあたっては、園児の思いに寄り添ったものにするため、子どもの発達段階、家庭状況、保護者の願いなどを十分に聞き取って、項目ごとに現状を把握し、目標を定め支援方法を明示している。 ・個別支援計画作成の際は、児童発達支援管理責任者及びクラス担任間で会議を持ち一人ひとりの園児についての育ちを共有している。 ・支援困難ケースについては、ケース検討会で取り上げるなどして、全職員で話し合う機会を設け支援を行っている。 ・活動や取り組みは、発達に応じて、設定あそびを通してからだ、感覚、手指の動き人との関わり方などを身につけていく。また、子どもの発達、興味、体力などを考えて他のクラスとグループを組み活動をしている。 ・他の児童発達支援を利用している子どもについては、他の事業所職員が来園され様子をみたり、担任と懇談を行っているほか、学園の職員が保護者の同意を得て、他の事業所の療育を見学し、学園での療育内容を見直すなど連携している。 	
改善できる点／改善方法：	

A-4 就労支援

A-4- (1) 就労支援

	第三者評価結果
A(17) A-4- (1) -① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	a・b・c
良い点／工夫されている点： 非該当	
改善できる点／改善方法：	
A(18) A-4- (1) -② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	a・b・c

良い点／工夫されている点： 非該当	
改善できる点／改善方法：	
A(19) A-4-(1)-③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	a・b・c
良い点／工夫されている点： 非該当	
改善できる点／改善方法：	

A-5 県独自項目

A-5-(1) 職員の援助技術の向上

	第三者評価結果
A(20) A-5-(1)-① 職員のスキルの段階にあわせて計画的に職員の援助技術の向上に取り組んでいる。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部の施設の職員が来園し療育の様子を見学してもらう公開療育を実施している。（現在はコロナ禍で休止中である） ・今年度は公立保育所の障がい児担当保育士が、療育実習を行ない、集団保育と個別療育について意見交換を行った。 ・療育スキル向上に関する研修は、外部講師を招いて毎年実施している。今年度は、希望が丘子ども医療福祉センターの医師に学園の実際の療育をみていただき、その上で講演していただき、日頃の療育を振り返った。 	
改善できる点／改善方法：	

A-5-(2) IT技術や知識の修得

	第三者評価結果
A(21) A-5-(2)-① 利用者の社会生活に必要となるIT技術（パソコン、インターネット、メールの利用等）や知識の修得に向けた支援をしている。	a・b・c
良い点／工夫されている点： 非該当	
改善できる点／改善方法：	